

北里大学病院・旧北里大学東病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (受付番号/承認番号)	子宮鏡下手術を施行した症例に対する術前投薬および術後転帰に関する検討
当院の研究責任者 (所属・職位)	医学部婦人科学 教授 加藤 一喜
他の研究機関および 各施設の研究責任者	なし
本研究の概要・背景・目的	子宮内腫瘍は不正出血、過多月経の症状として自覚されることが多く、時に不妊の原因となることもあります。治療には薬物療法のほか子宮鏡下手術があり、子宮内に水を還流させながら行います。手術時間が長くなると子宮が収縮し操作が困難となったり、使用する還流液量が増え体腔内に水がたまる(胸水・腹水など)ことがあります。また手術時に性器出血があれば視野が確保できません。手術操作を迅速かつ安全に行う事と、正常筋層へのダメージを最小限にするため、術前投薬を行うことが多いです。そこで当院婦人科では、子宮鏡下手術を行った患者さんの診療記録を後方視的・一部前方視的に調査する事により、術前投薬の有効な使用法や手術の適応を明らかにすることを目的とし研究を行います。
調査データ 該当期間	調査データ期間は、2018年1月1日～2027年12月31日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さん	2018年1月1日～2023年12月31日までに当院で子宮鏡下手術を受けられた患者さん
研究の方法 (使用する試料等)	2018年1月1日～2027年12月31日までの診療記録、検査データを利用します。
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
利用又は提供を開始する 予定日	利用又は提供開始予定日： 研究期間の長の許可日から
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け、適切に管理されます。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

所属・職位:医学部産科学・教授

担当者:加藤 一喜(カトウ カズヨシ)

電 話:042-778-8414

備 考